ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
2012年1月期　第3四半期決算補足資料

ソーシャルゲーム市場拡大を好機に
デバッグ、ユーザーサポートを順調に受注し、
第3四半期累計にて前年度利益を上回る

証券コード：3657

2011年12月8日

INDEX

1. 2012年1月期　第3四半期決算概況　・・・2

2. ＜参考＞事業内容・事業環境　・・・6

3. ＜参考＞今後の事業戦略　・・11

4. ＜参考＞会社概要　・・16

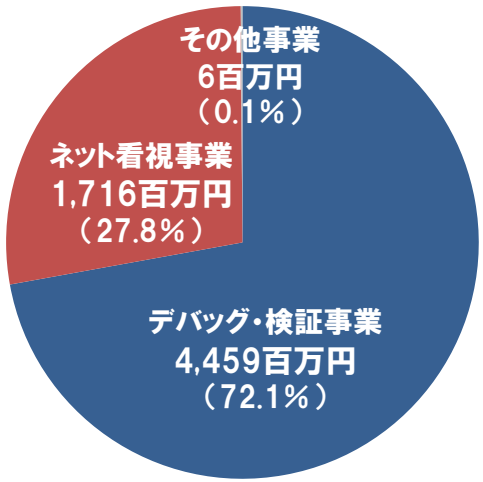
1-1. 2012年1月期第3四半期　連結業績概要

第3四半期累計にて前年度利益を上回る
ソーシャルゲーム市場拡大等を好機に堅調に推移

単位：百万円（単位未満切捨）

	[当期] 2012/1期 3Q累計 （2011.2-2011.10）		[前期] 2011/1期　通期 （2010.2-2011.1）	
	実績	売上比	実績	売上比
売上高	6,183	100.0%	6,865	100.0%
営業利益	955	15.4%	770	11.2%
経常利益	966	15.6%	769	11.2%
四半期（当期）純利益	524	8.5%	381	5.6%

2012年1月期　3Q累計
事業セグメント別　売上高構成比



売上高合計　6,183百万円

※比率について表示単位未満を四捨五入

1-2. 2012年1月期第3四半期　トピックス

デバッグ・検証事業　売上高　4,459百万円（売上構成比72.1％）

- 3Qは、ゲーム市場の**年末商戦**、**新型ゲーム機発売**に伴い、**家庭用ゲームソフトデバッグ**が**増加**
- ソーシャルゲーム市場の拡大により、**ソーシャルゲーム**の**デバッグ**が**増加**
  ⇒　横浜スタジオを増床予定
- 米国現地法人Pole To Win America, Inc.の**取引社数**が**50社**を超え、**海外現地売上**が**増加**し始める

ネット看視事業　売上高　1,716百万円（売上構成比27.8％）

- ソーシャルゲーム市場の拡大により、**ソーシャルゲーム**の**ユーザーサポート**が**増加**
  ⇒　札幌サポートセンター、中部（名古屋）サポートセンターを増床
- 本年度、**13自治体**より**約7,200校**を対象とした**学校裏サイト調査業務**を受託。また、2省庁より違法有害情報、権利侵害調査を受託
- ネット系**銀行**、**広告代理店**へ**不正検知・判定システム**を提供

1-3. 財政状況　連結貸借対照表

上場による株式発行により、現預金、純資産が増加
自己資本比率は、前期末70.5%→78.5%へ増加

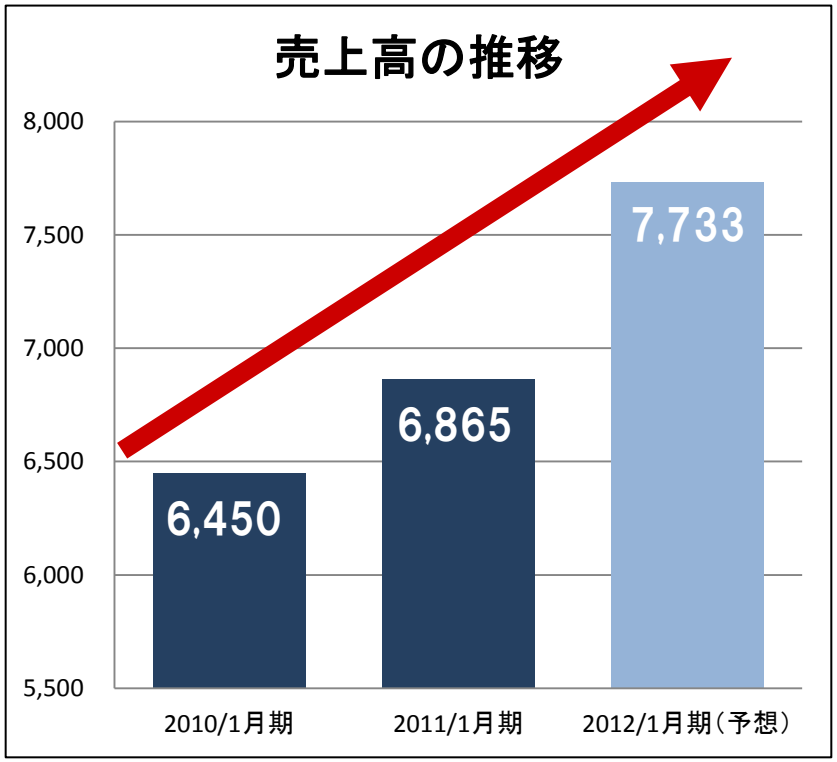
単位：百万円（単位未満切捨）

	2012/1期3Q末	2011/1期末	増減
流動資産合計	4,938	3,125	1,813
（うち現金及び預金）	3,642	2,076	1,566
有形固定資産	93	73	19
無形固定資産	51	43	8
投資その他の資産	297	293	4
固定資産合計	442	410	32
資産合計	5,381	3,535	1,845
流動負債合計	1,124	999	124
固定負債合計	32	56	△24
負債合計	1,156	1,056	100
純資産合計	4,225	2,479	1,745
（うち資本金）	712	50	662
（うち資本剰余金）	758	96	662
（うち利益剰余金）	2,760	2,338	421
負債純資産合計	5,381	3,535	1,845

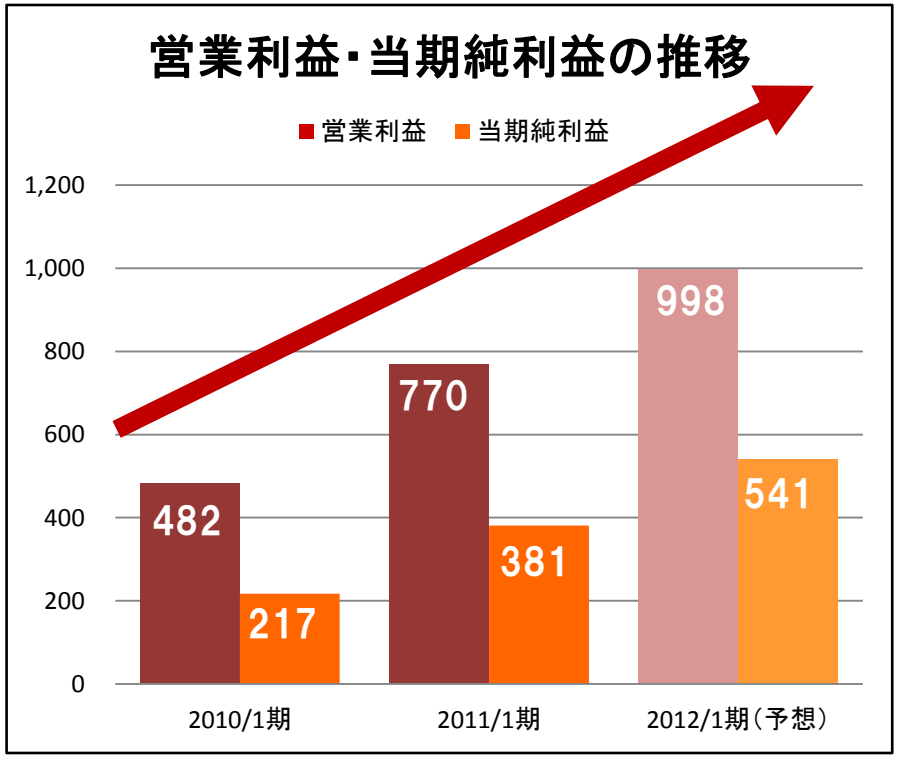
1-4. 連結業績の推移

2012年1月期も増収増益に向け、順調に推移
配当性向25%方針に基づき、1株31円配当を予定

（百万円）



（百万円）



- 4Qもソーシャルゲーム関連売上等により順調推移予定。業務拡大に備えた設備等の準備費用増加を見込み、通期予想は据え置き。

2-1. 事業セグメント

デバッグ・検証事業

デバッグ・検証とは
ソフトウェアのプログラムが設計・仕様どおりに動作するか、意図しない現象が発生しないか等を確認・報告。

① デバッグサービス
主にコンシューマゲーム、モバイルコンテンツ等向け
② 検証サービス
主にIT家電等に対する動作検証作業
③ 翻訳サービス
海外のゲームユーザーに魅力を伝える高品質な翻訳

ポールトゥウィン株式会社	株式会社猿楽庁
Pole To Win America, Inc.	上海申発軟件有限公司

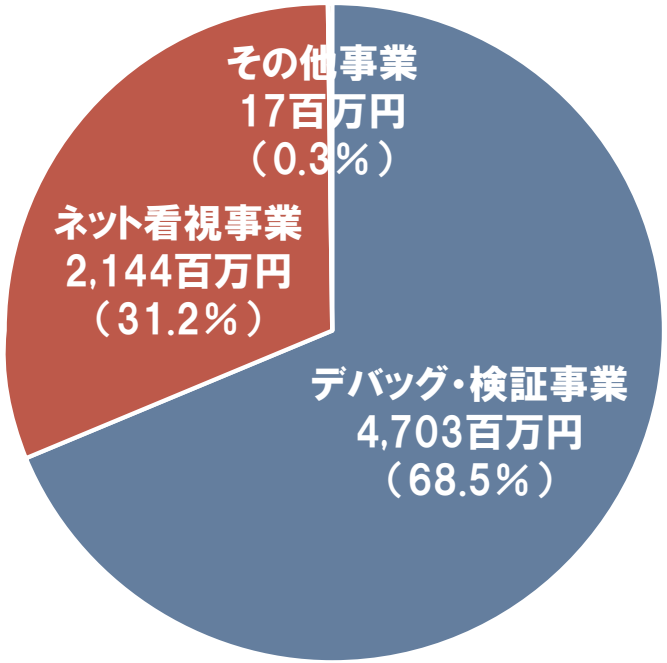
ネット看視事業

ネット看視とは
インターネットサイトを健全に運営し、利用者が安心できるように、違法有害情報や不正利用を検出・排除

① ネット看視サービス
インターネットサイト看視に関するサービス
② ユーザーサポートサービス
電話やメールによる問い合わせへの返信対応等

ピットクルー株式会社	ポートサイド株式会社

2011年1月期事業セグメント別売上高



売上高合計　6,865百万円

その他事業

グループ内外の市場調査、グループ内外の出版・メディアに関する事業

株式会社第一総合研究所	株式会社第一書林

2-2. デバッグ・検証事業とは

■デバッグサービス

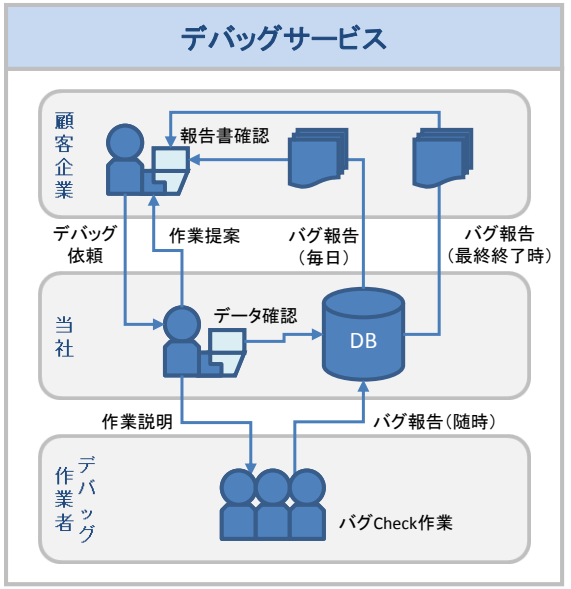
コンシューマゲーム、モバイルコンテンツ、PCソフト、アミューズメント機器（パチンコ・パチスロ）等の不具合検出および難易度チューニング。

■検証サービス

開発中のIT家電、携帯電話、車載情報機器等の不具合検出や動作確認

■翻訳サービス

海外向けゲーム・ソフトのゲーム内テキスト、取扱説明書、Webサイト、企画書等の翻訳（EFIGS）
（製品のローカライズプロセスを熟知した翻訳者による対応）



2-3. デバッグ・検証事業の事業環境（概要）

- コンシューマゲーム市場は今後拡大サイクルに
- ゲームソフトのオンライン化拡大とソーシャルゲーム市場の勃興
- 家電の高度IT化がデバッグ、動作検証のアウトソーシング・ニーズを高める

2-4. ネット看視事業とは

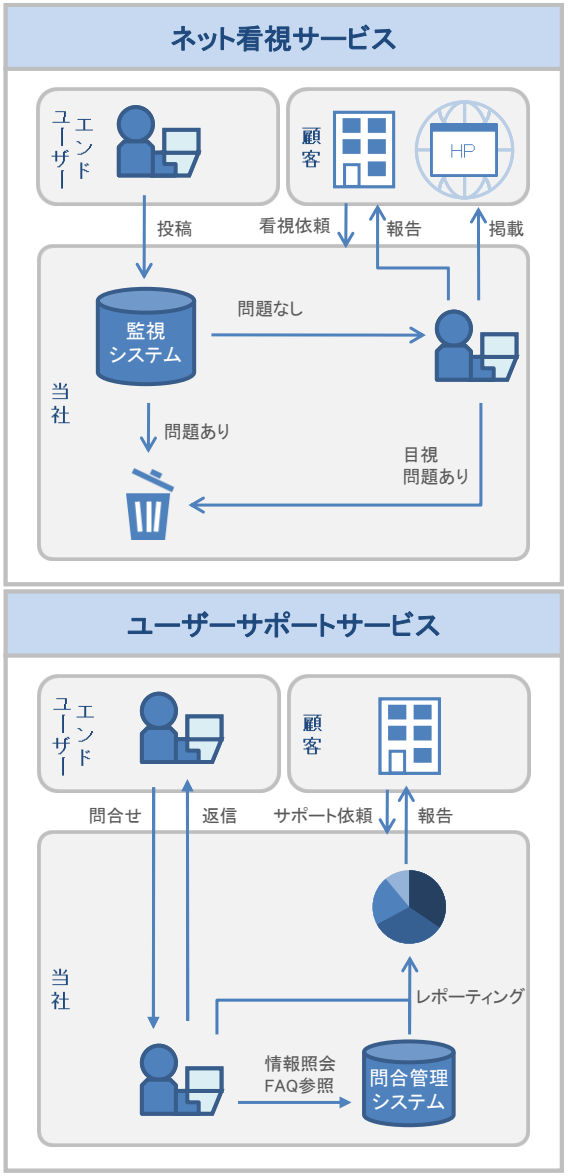
■ネット看視*サービス

Eコマースにおける不正情報や、顧客企業が運営するインターネット上の掲示板・ブログ・SNS等に投稿されるテキスト、画像、動画等のチェックをシステムと有人を組み合わせて実施。

派生業務：a. スクールネットパトロールサービス
b. 広告審査サービス
c. Web巡回サービス
d. サーバー看視サービス

■ユーザーサポートサービス

ゲームソフト／ハードやソーシャルアプリ利用者等からの電話・メール問い合わせに返信等の対応を行うサポートサービスを受託



※安心・安全なインターネット環境を実現するための見守りでありたいという思いから、当社グループでは従来のネット「監視」ではなく「看視」と表現しております。

2-5. ネット看視事業の事業環境（概要）

■ 高まり続ける「ネット看視」の必要性

■ モバイル（携帯・スマートフォン）の世界でネットビジネスが拡大

⇒ ユーザーサポートが成長のキー

3-1. 今後の事業戦略のポイント

1 各々の**市場**が**融合**し、**ソーシャルネット**の成長に合わせ**新しいビジネス**が生まれる

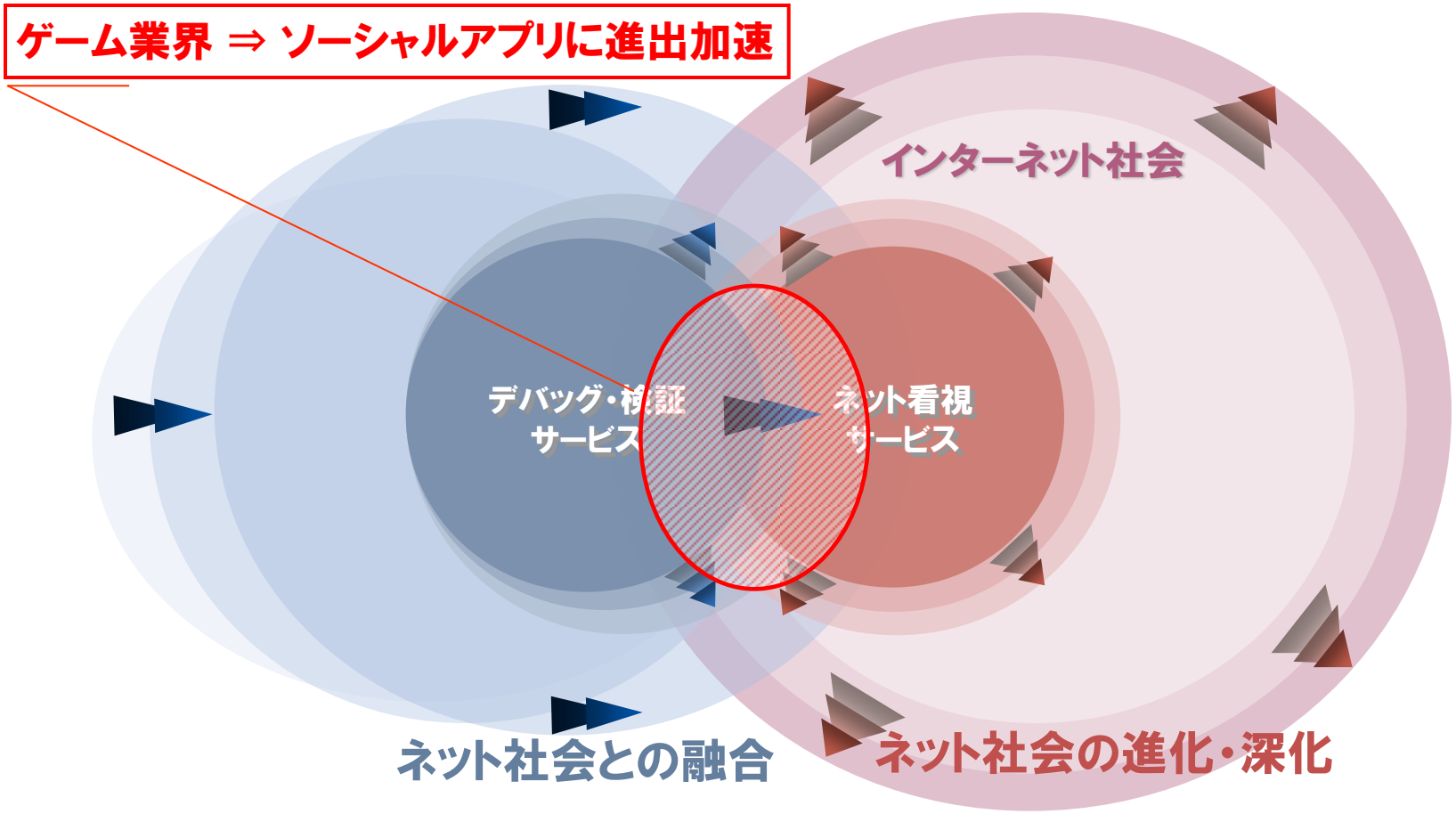
2 多様な形で成長するゲーム業界で**北米**及び**欧州市場**へ**進出**

3 新たなネットビジネスに**「システム」**と**「有人」**を組み合わせた**看視ニーズ**の**高まり**

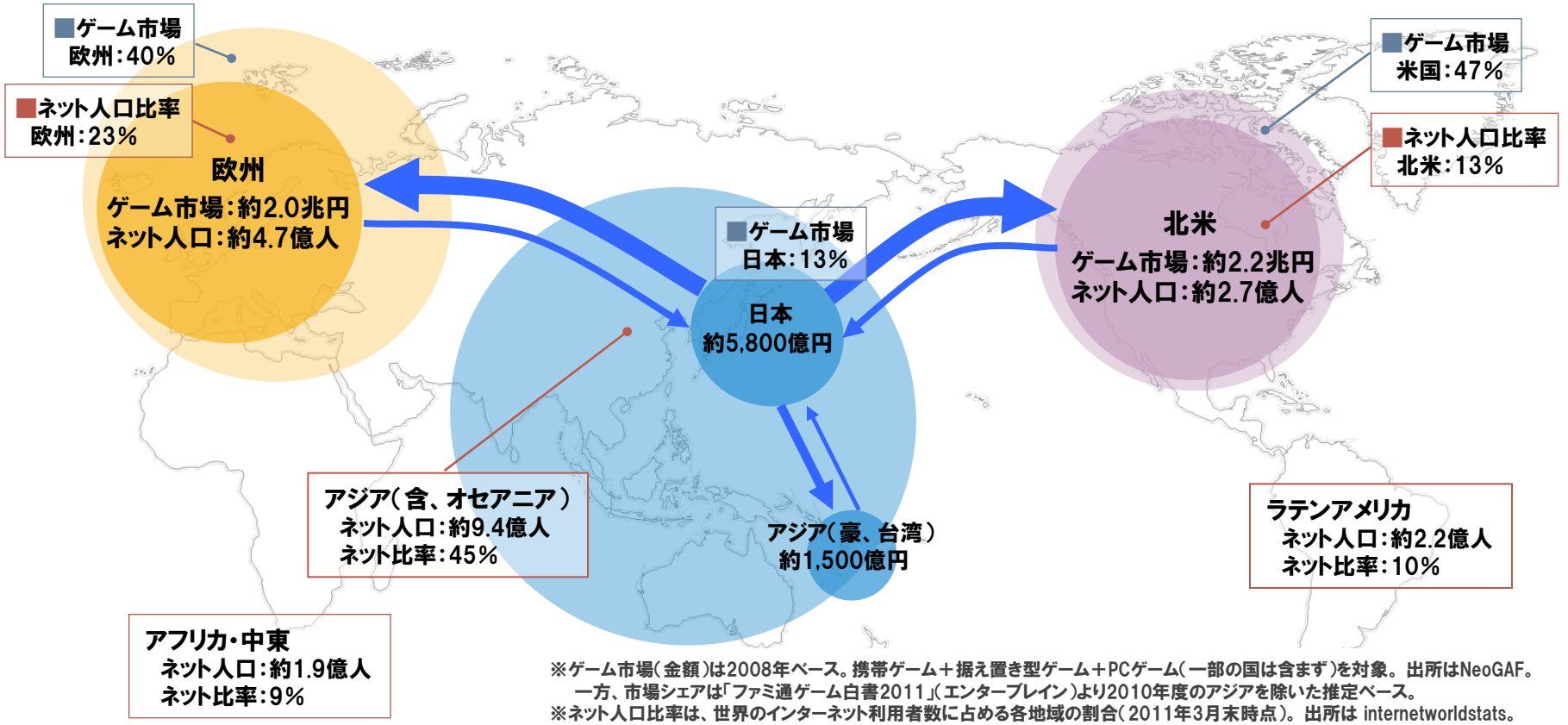
4 **人**の力を最大限発揮する**総合ソリューション力**と**システム**の最大限の**活用**による**付加価値UP**

3-2. 事業ドメインの融合

■ 当社が強固な基盤を持つゲーム業界では、ユーザーサポートが重要なソーシャルゲームに進出…**シナジー効果発揮**の先駆事例
⇒ソーシャルネット市場を支える企業集団としての地位確立へ



3-3. 市場のグローバル化に合わせた両事業の展開



※ゲーム市場（金額）は2008年ベース。携帯ゲーム＋据え置き型ゲーム＋PCゲーム（一部の国は含まず）を対象。出所はNeoGAF。
一方、市場シェアは「ファミ通ゲーム白書2011」（エンターブレイン）より2010年度のアジアを除いた推定ベース。
※ネット人口比率は、世界のインターネット利用者数に占める各地域の割合（2011年3月末時点）。出所は internetworldstats。
※なお、ゲーム市場とネット人口の両者で各地域の構成国は異なる（例えば、同じ欧州でも異なるユニバースからデータは算出されている）。

デバッグ検証事業	日本のゲーム市場は世界の1割程度。 より大きな北米、欧州市場に展開を広げる
ネット看視事業	日本の大手ネット企業が北米進出。 将来的にアジア市場も魅力

（注）現時点において、上記のうち、Pole To Win America,Inc. 欧州支店（平成23年8月設置）については海外展開のための事業立ち上げ段階にあり、上海申発軟件有限公司については将来のアジア展開にかかる現地市場調査等を行っております。

3-4. システム看視ツールの活用

ノウハウのパッケージ化

■SEKISYO
ポートサイドが提供するインターネット不正検知プラットフォーム

⇒ ネット系銀行へ不正口座開設検知システム提供
⇒ 証券会社、損保との交渉開始

■こんぷらRobo
ポートサイドが提供する単語・文章NG判定プラットフォーム。

画像認識エンジン

高度高速な画像認識エンジンの開発、実用化へ。

テキスト認識エンジン

■COSMOSTAR
メタデータ社と提携し、ピットクルーがサービス提供しているソーシャルメディアの運用支援総合サービス。

「Interop Tokyo 2011」で「Best of Show Award」ベンチャー部門のグランプリを受賞。

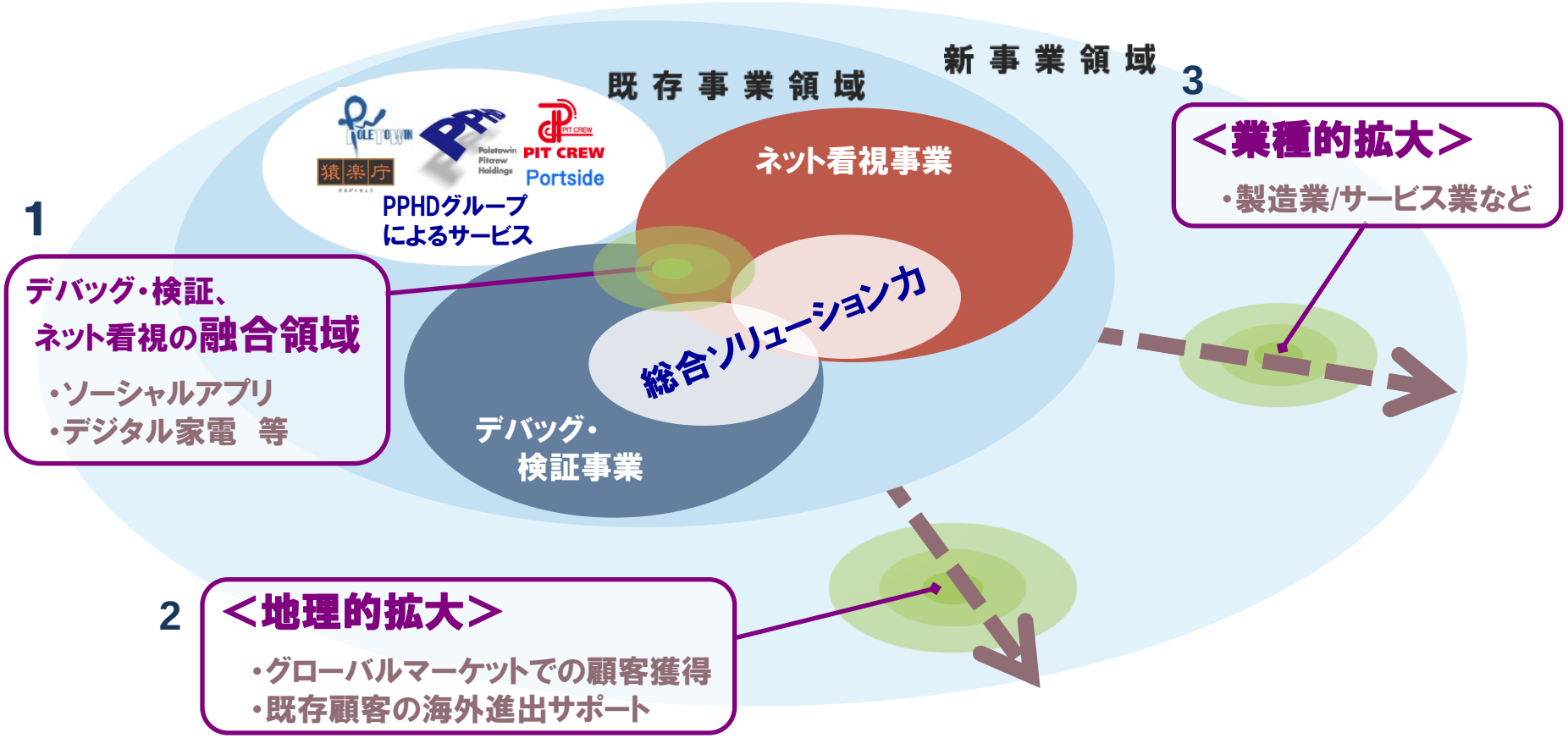
更なる効率的な看視の実現

同業他社ではできないシステム投資・ソフトウェア投資に成長資金を充当

看視ノウハウを有するシステムの拡販

3-5. 総合ソリューション力による事業領域拡大

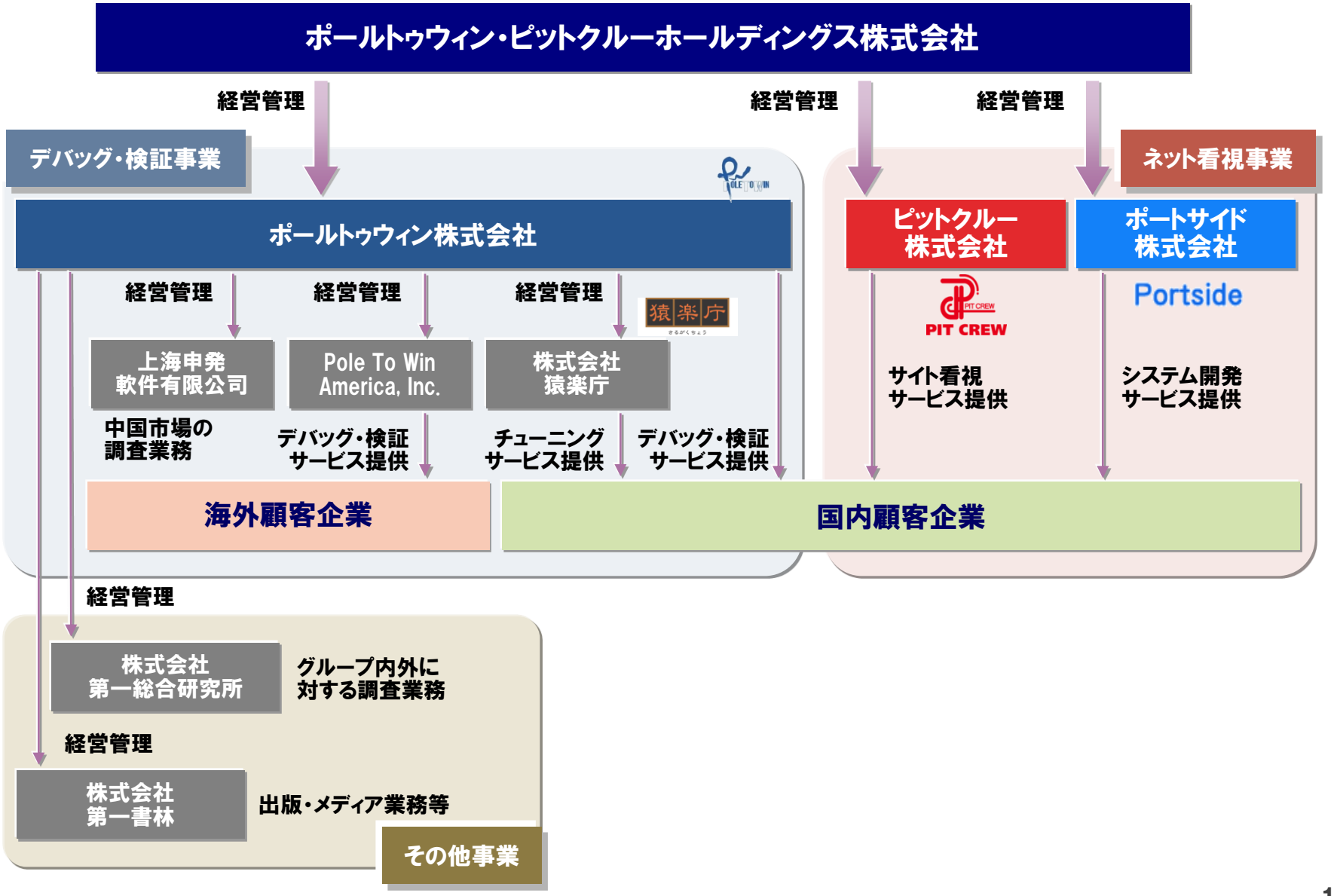
1. ソーシャルネット市場における、事業間シナジー効果の発揮
2. 北米を中心としたグローバル展開
3. 人にしかできない分野への事業領域拡張



4-1. 会社概要

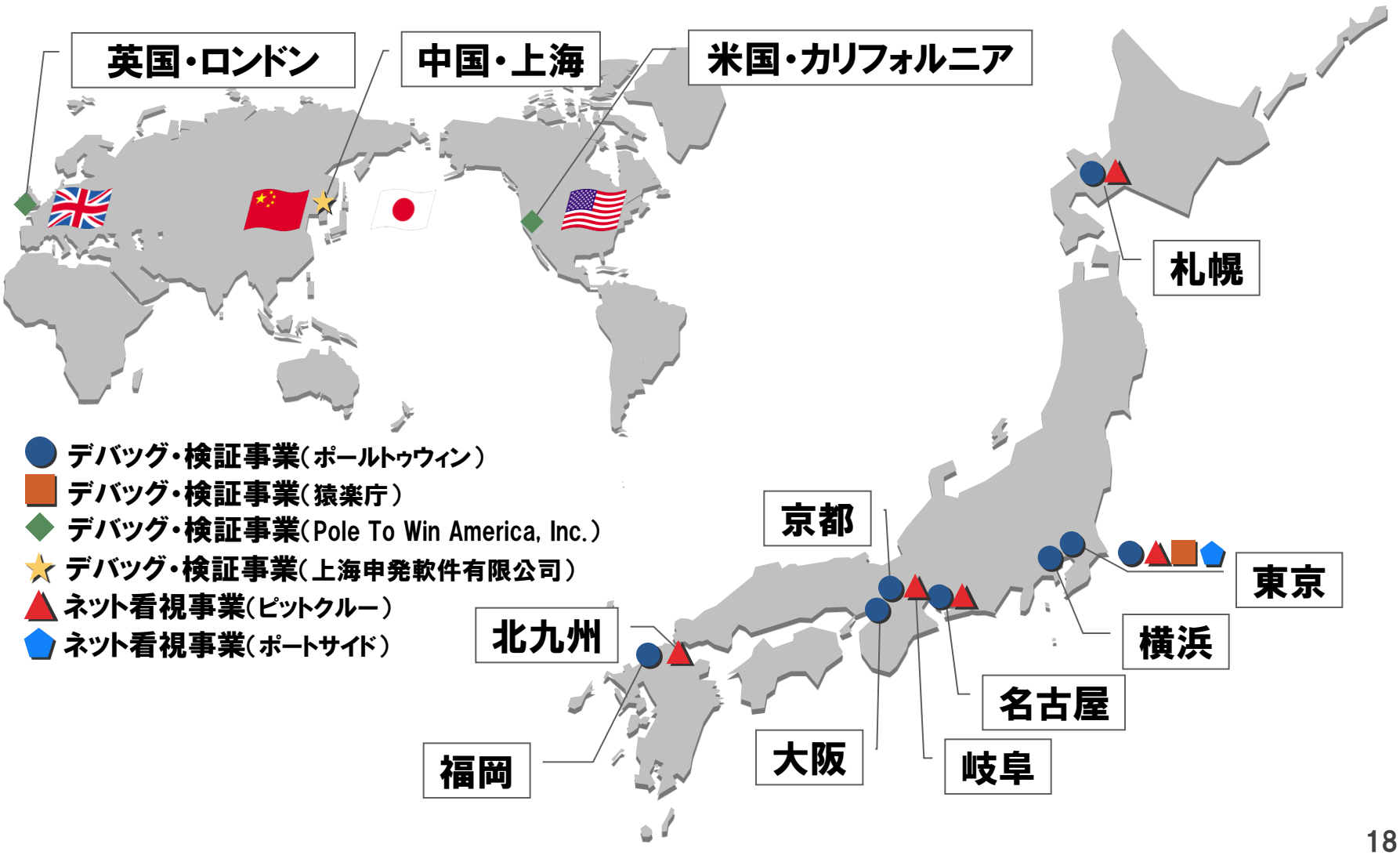
会社名	ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
代表者	代表取締役会長　橘　　民義 代表取締役社長　小西　直人
本社所在地	東京都千代田区岩本町2-4-1
設立	2009年2月2日
資本金	7億1,240万円（2011年10月26日現在）
事業内容	当社及び連結子会社8社で構成されるグループ全体の事業活動の支配・管理及びこれに付帯または関連する業務。 【当社グループの主な事業】 1.デバッグ・検証事業 ソフトウェア・ハードウェアの品質向上のサポートをするため、不具合の検出を行う事業 2.ネット看視事業 インターネットサイトの健全運営をサポートするために、違法有害情報や不正の検出を行う事業 3.その他事業 市場調査、出版・メディアに関する事業
連結業績 （2011/1期）	売上高　　：68億6,560万円　　従業員数：336人 経常利益　：　7億6,935万円　（外、平均臨時雇用人員：473人） 当期純利益：　3億8,170万円

4-2. グループの構成


ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
経営管理
経営管理
経営管理
デバッグ・検証事業
ネット看視事業
ポールトゥウィン株式会社
ピットクルー株式会社
ポートサイド株式会社
経営管理
経営管理
経営管理
猿楽庁
PIT CREW
Portside
上海申発軟件有限公司
Pole To Win America, Inc.
株式会社猿楽庁
サイト看視サービス提供
システム開発サービス提供
中国市場の調査業務
デバッグ・検証サービス提供
チューニングサービス提供
デバッグ・検証サービス提供
海外顧客企業
国内顧客企業
経営管理
株式会社第一総合研究所
グループ内外に対する調査業務
経営管理
株式会社第一書林
出版・メディア業務等
その他事業

4-3. 事業拠点

■国内15拠点、海外3拠点で事業展開



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。